

松田町総合計画のためのまちづくり町民アンケート調査 <結果要約>

■回答者の傾向 ⇒ 資料 2-2 p2~15

- ・ 10代はほとんどが**学生**で、うち**4人に1人が東京都内へ通学**している。
- ・ 20代から50代は**会社員や公務員等**が多く、その多くが**町外へ通勤**している。
- ・ 20代と30代の**3~4割**が松田町に住み始めて**5年未満の比較的新しい住人**である。
- ・ 60代以上からは**無職**が増えるため、町外へ通勤する人は少なく、居住歴も生年に近い人が多くなる。
- ・ 前回調査は「60歳以上」が全体の6割近くを占め10代~20代は2%、30代が7.8%だったため、今回は**若い世代からの意見収集を重視**し、幅広い年代から回答を得られた（10代~20代15.5%、30代13.9%）。

■松田町の住みよさや今後のまちの人口について ⇒ 資料 2-2 p16~28

- ・ 7割近い人が松田町は**住みよい**と答え、**自然の豊かさ**や**交通の便のよさ**を理由として挙げている。
- ・ 一方で、**住みにくい**と答えた人からは、**商業施設の不足**や**買い物**の便の悪さを指摘する声が多い。
- ・ 住みよさ意識やその理由は**前回調査**と比較しても**ほぼ同様**の傾向となっている。
- ・ **寄地区**は松田地区に比べ**<住みよい>**が20ポイントほど**低く**、その理由では**交通の便の悪さ**が最も多い。
- ・ **今後の人口規模**については半数が**増加すべき**と答え、年代では**60代からそれ以上の世代**、居住地区では**寄地区**、居住年数では**60年以上**でよりその傾向が強い。
- ・ 人口増加策としては**買い物の利便性向上**や**働く場所の確保**が効果的としている。
- ・ **30代**の**<住みにくい>**人の理由では**子育てや教育環境への不満**もみられることから、この世代からは人口増加策として**幼稚園や保育所の充実**も有効との意見がみられる。

■現在のまちづくりへの評価について ⇒ 資料 2-2 p29~49

- ・ 6つの柱のうち、**①自然・景観**、**③健康・福祉**、**④教育・文化**は比較的満足度が高いものの、**②都市基盤・生活環境**、**⑤産業**、**⑥行財政**では**改善が求められる**項目が多く、なかでも**<都市基盤・生活環境>**の「**新松田駅・松田駅周辺の整備**」や「**道路網や生活道路の整備**」については最優先の改善が求められている。
- ・ **今後力を入れるべきまちづくりの柱**は**都市基盤・生活環境の整備**が最も多く、居住年数別では**5年未満**や**5~9年**など居住歴が若いほど、年代別では**30代**、**40代**、**50代**で特に高い。
- ・ 一方で、定住促進に向けたプロジェクトのうち、「**骨格形成プロジェクト**」については**一定の評価**が得られており、県西部の交通の要所として町が力を入れて整備している点は評価しつつ、**さらなる期待が寄せられている**と考えられる。
- ・ **松田町独自の取り組み**については、**YHV（やどりきヒーリングヴィレッジ）**は**寄地区**で、**女性が活躍するまちづくり**は**女性**からなど**当事者からの評価**が高いほか、**文化センターの改修**については**40代**、**50代**や**寄地区**でやや評価が高い。

■協働・連携協力のまちづくりについて ⇒ 資料2-2 p50~59

- ・協働・連携協力のまちづくりの取り組みとしては、**地域住民が自発的に交流機会を増やすこと**や**さえあう地域づくりに関する情報の提供や意識啓発**が上位に挙がっている。前回からこの順位の変動はないが、**地域住民が自発的に交流機会を増やすこと**の割合のみ10ポイント以上減少している。
- ・町が**現在実施している事業**や**将来行う事業**、**町の抱えている課題**などには4割以上の人が関心を持っており、これらの情報の入手先は**広報や回覧板が中心**となっているが、20代から40代では**町公式ホームページ**を利用する人も一定数みられる。
- ・町政の関わり方については**専門家に任せたい**、自分は**アンケート等で参加したい**という意見が半数を占め、**10代や20代**ではそもそも**町政に関心がない**という意見もみられる一方、**60代以上**では**懇談会や対話集会へ参加したい**人もみられる。
- ・町外へ通勤・通学している現役世代と日中ほとんどを町内で過ごす人達とでは協働のまちづくりや町政への参加の可否も異なることから、従来の手法だけでなく、**インターネットを使った情報提供の充実**や**Twitter**などを活用した**相互対話**など**多様な参画の手段**を講じていく必要がある。

■松田町の将来像について ⇒ 資料2-2 p60~61

- ・「**医療と福祉の充実したまち**」が最も多く、僅差で「**緑と清流の豊かな住環境のまち**」となっており、前回調査とは**1位と2位が逆転**している。
- ・主に**男性**や**50代までの若い世代**からは「**緑と清流の豊かな住環境のまち**」が、**女性**や**60代以上の世代**からは「**医療と福祉の充実したまち**」が望ましいとされており、前者は**町の魅力・長所をさらに伸ばす**ことが、後者は**超高齢化社会に向けたセーフティネットの整備**が求められていると考えられる。